

## 「さとやま未来円卓会議」の実施状況について

### 1 要旨・目的

ひろしま里山・チーム500の登録者（以下「チーム500登録者」という。）の活動の継続と発展を支援するため取り組んでいる、「さとやま未来円卓会議」（以下「円卓会議」という。）の今年度の実施状況等について報告する。

### 2 現状・背景

中山間地域振興計画に基づく「人づくり」の一環として、チーム500登録者による地域づくり活動を支援するため、平成30年度に、行政、経済団体、金融機関及び大学等で構成される円卓会議を設立した。

（参考）円卓会議 構成36団体

行政 — 国（財務省中国財務局、経済産業省中国経済産業局）、県、市町  
経済団体 — 広島県商工会議所連合会、広島県商工会連合会 ほか  
金融機関 — ひろぎんエリアデザイン、もみじ銀行、広島信用金庫 ほか  
大学 — 広島大学、県立広島大学、叡啓大学  
関係機関 — 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター、公益財団法人ひろしま産業振興機構

### 3 概要

#### (1) 対象者

チーム500登録者

#### (2) 実施内容（詳細は次表参照）

中山間地域の課題解決に取り組む発表者の活動の継続と発展を支援するため、円卓会議を今年度2回開催し、6名が取組課題等について発表した。（累計：37組）

円卓会議開催前に、発表者の取組に関する課題分析等を通じて、課題の整理や深掘りを実施するとともに、円卓会議において、発表者ごとの取組内容や課題などに応じて、関係する構成団体と外部専門家をグループ編成し、発表者の課題解決に向けた助言や情報提供、今後の連携などについて意見交換等を行った。

令和6年度外部専門家（所属）

第1回 — 和田 徳之 氏（株式会社和大地 代表取締役）  
深澤 裕之 氏（Nurse and Craft 株式会社 代表取締役）  
江口 裕 氏（BEAMS HIROSHIMA staff）  
第2回 — 桶谷 建央 氏（ReGACY Innovation Group 株式会社 取締役兼執行役員）  
安村 通芳 氏（株式会社 TOWN DESIGN LABO 代表）  
平岩 宏隆 氏（アクト中食株式会社 専務取締役）

【令和6年度の実施状況】

回次	開催日	発表者 (主な活動地域)	取組課題及び登壇時の助言・今後の連携等
第1回	R6. 11.8	ふじなか たくや 藤中 拓也 氏 (大崎上島町)	<取組課題> インターネットで商品等を販売する EC サイト「ふるマル」の活性化に向けた、運営主体として協働する産地コーディネーター(地方自治体、NPO 団体、地域おこし協力隊など)とのコネクションづくり <登壇時の助言・連携等> ○ 地域おこし協力隊が地域商社として起業できるビジネスモデルの設計に関する助言 ○ 「ふるマル」が持つ強みを活用し、地域おこし協力隊を支援する仕組みづくりに関する提案
		もりもと れいや 守本 怜矢 氏 (江田島市)	<取組課題> 現地の建物案内を地域住民(センパイ)に依頼するなど、センパイの力を借りた田舎特化型の不動産モデル事業「センパイ制度」の構築 <登壇時の助言・連携等> ○ センパイの活動をサポートする実践的なマニュアルの整備や、機能する仕組みの構築に向けた助言 ○ 地域に溶け込みやすい環境を作るための指導やサポート体制を整備し、センパイのモチベーションを維持する方法に関する提案
		ささき まさあき 佐々木 正旭 氏 (呉市豊町)	<取組課題> 地元産の柑橘を使ったお菓子の EC サイト等による販売について、ターゲット層に効果的にアプローチするプロモーション戦略 <登壇時の助言・連携等> ○ 商品を島外でも販売できるよう、ビームスウラマルシェの紹介 ○ 規格外果物を活用した、商品の「ウリ」を明確にした新商品を開発する提案
第2回	R7. 1.23	よしおか こうじ 吉岡 康仁 氏 (三原市大和町)	<取組課題> お米のサブスクリプション(定期的に料金を支払い利用するサービス)の魅力化や収益化 <登壇時の助言・連携等> ○ 精米器とレンタルセットにするなど、ハード面も含めたサービスモデルの構築や、小規模事業者には有用なドミナント戦略(一定のエリアに集中して出店する戦略)を活用することで、企業と農家をつなぐ地域密着型の仕組みを構築することが有効との助言
		ふじい こうじろう 藤井 皇治郎 氏 (三次市)	<取組課題> 薪×防災による持続可能なビジネスモデルの構築に向けた、地域防災意識の啓発と薪の普及の仕組みづくり <登壇時の助言・連携等> ○ 自治体と連携した備蓄・防災イベント、高所得層や防災意識の高い層への訴求、企業版ふるさと納税の活用、薪の安定供給に向けた分業化やストック場所の確保、薪を活用した飲食・サウナ事業との連携、体験イベントの実施などの助言
		もりわけ ゆうま 守分 勇馬 氏 (東広島市)	<取組課題> 農業資材販売と規格外農産物の流通促進を軸とした、地域農業の活性化と持続可能なビジネスモデルを構築する上で、飲食店・加工会社などの規格外農産物の販路拡大や物流支援の仕組みづくり <登壇時の助言・連携等> ○ JA と競合しない顧客層の明確化、生産者支援の仕組みの考え方についての助言 ○ 規格外野菜の販路拡大に向けたステークホルダーの分析を踏まえた上で、販売先などのつながるべき人材の紹介

(3) スケジュール

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
					● 第1回 (11/8)		● 第2回 (1/23)

(4) 予算（単県）

1,497 千円

(5) 事業効果

商品のPR・販売機会の増加や新商品開発、販路拡大に繋がる必要な人材や組織の紹介など、構成団体や外部専門家による支援・連携等を通じて、チーム500登録者の活動の後押しにつながった。

(6) 今後の対応

発表者の活動の進捗等を定期的に確認し、活動状況や課題に応じて構成団体等への協力要請を検討するなど、引き続き、チーム500登録者の活動の後押しに取り組む。

4 その他（関連情報等）

広島県ホームページ

【第1回】

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/semi-mt/satoyama-entaku241108.html>

【第2回】

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/semi-mt/satoyama-entaku250123.html>